

第118期 中間報告書

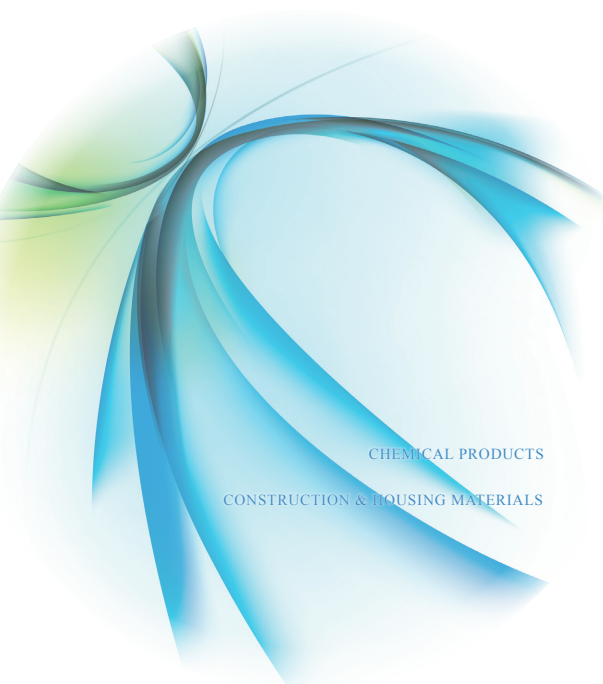
[平成29年4月1日～平成29年9月30日]

CHEMICAL PRODUCTS

CONSTRUCTION & HOUSING MATERIALS

アイカ工業株式会社

証券コード 4206



CHEMICAL PRODUCTS

CONSTRUCTION & HOUSING MATERIALS

CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算 連結貸借対照表／連結損益計算書 連結キャッシュ・フロー計算書	
■ 企業活動のご案内	7
■ 会社の概要	8
■ 株式の状況	9
■ 株主メモ	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第118期第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、米国の政策動向や東アジアの政治的緊張の影響が懸念されるなか、堅調な輸出や設備投資に支えられた企業業績の回復、および雇用環境の改善などにより、緩やかながら回復基調が続きました。また、アジア・オセアニア地域の経済は、インドでは景気減速が見られたものの、中国・アセアン各国では個人消費や投資などの内需に支えられ概ね堅調に推移しました。

国内建設市場においては、低水準な住宅ローン金利や政府による住宅取得支援策などにより住宅着工は概ね横ばいで推移しました。非住宅関連は、企業の設備投資やインバウンド効果によるホテルの新築・改修需要を背景に着工面積の回復が見られました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C 2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア太平洋地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高78,012百万円(前年同四半期比7.2%増)、営業利益9,300百万円(前年同四半期比7.3%増)、経常利益9,595百万円(前年同四半期比9.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,726百万円(前年同四半期比9.2%増)となりました。

なお、中間配当金につきましては、業績を鑑み当初公表の1株当たり40円から2円増額し、42円といたしました。

今後の景気動向につきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くことが予想され、また、各種政策の効果などもあり、景気の回復が期待されますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響による景気下振れリスクが残っています。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、リフォーム・リノベーション、補修・補強などの成長分野に対する営業活動の強化、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社とのシナジーの追求、アジア地域におけるメラミン化粧板販売の強化、機能材料事業の強化による更なる成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発を行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月



代表取締役社長

小野 勇治



当社グループは、「挑戦と創造(Challenge&Creation=C&C)」を社是とし、共生の理念のもと、たえず革新により新しい価値を創造し、社会に貢献していくことを経営理念に掲げています。

当社は創立90周年に目指すべき姿「アイカ10年ビジョン」を描き、その実現へのロードマップの最初の4年間に達成すべき財務目標と基本方針を、新中期経営計画「C&C2000」として策定し、平成29年4月に発表いたしました。

「C&C 2000」のロゴマークは、「化成品セグメント」を表すグリーンと「建装建材セグメント」を表すブルーの「C」が重なり合うことで、「相互に触発・連携し社会に役立つ独創的な商品を生み出していく企業グループを目指す」ことを表現しております。

(セグメント変更のお知らせ)

当社は平成29年3月期まで、「化成品セグメント」「建装材セグメント」「住器建材セグメント」の3セグメントにて業績を開示してまいりましたが、「建装材セグメント」「住器建材セグメント」につきましては、ボーダレスな商品群が増加傾向にあることから、これらを統合し、「建装建材セグメント」とすることといたしました。したがって、当期より、「化成品セグメント」「建装建材セグメント」の2セグメントにて業績を開示しております。

化成品セグメント

接着剤系商品は、国内においては施工用接着剤、合板用接着剤、集成材用接着剤が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。また、海外においてもアジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、建築・土木用の補修・補強材は好調に推移しましたが、新築住宅向けの外装・内装仕上塗材「ジョリパット」が低迷したことなどから、売上が前年を下回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内太陽光発電市場の低迷によりホットメルトが前年を下回ったものの、化粧品や拡散材用途の有機微粒子、スマートフォン関連の電子材料、繊維・紙加工用途のアクリル・コンパウンド商品が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は39,889百万円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は3,375百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。



アイカタフレジンクリアガード

物件名：沖縄県浦添市役所
外壁タイル改修工事
設計：株式会社ワールド設計
施工：株式会社トクシュ



ジョリパットネオ

物件名：CASA||音色/casaneiro
設計：UID 一級建築士事務所
施工：株式会社創建
撮影：koji fujii

建装建材セグメント

メラミン化粧板は、国内においては、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつメラミン化粧板「セルサス」や、不燃性・施工性・意匠性において付加価値を付与した新商品の「アイカフレアテクト」や「メラタック」などが好調で売上を伸ばすことができました。また、海外においても、インドネシアやシンガポール、タイ、中国を中心に売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板や木口化粧材が医療福祉施設や大型商業施設の着工減の影響をうけたことから、売上が前年を下回りました。

メラミン不燃化粧材「セラール」は、底堅い住宅着工によるキッチンパネル用途を中心に、教育施設や店舗の改修需要や、オフィス・倉庫・工場の新築需要を獲得するとともに、駅のトイレや医療介護施設などでは「セラール消臭タイプ」の採用が拡大し、売上を伸ばすことができました。



薄物メラミン不燃化粧板
FLARETECT
(フレアテクト)

物件名：こぎくら保育園
設計：株式会社山口設計
施工：有限会社国吉組
建具：合資会社平商事



不燃化粧材
CERARL
(セラール)

物件名：医療法人社団聖仁会
白井聖仁会病院 移転新築工事
設計：株式会社大建設計

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト・カラー」が教育施設や医療福祉施設の需要を取り込み、売上を伸ばすことができました。

カウンター・ポストフォーム商品は、メラミン化粧板の加工品、人工大理石「コーリアン」、高級人造石「フィオレストーン」が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

建具・インテリア建材は、医療・介護施設に適した機能引戸「U.D.(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」や、非住宅施設向けのトイレブースが好調でしたが、住宅向けの建具シリーズが前年を下回り、ほぼ横ばいで推移しました。

このような結果、売上高は38,123百万円(前年同四半期比5.6%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は7,169百万円(前年同四半期比5.8%増)となりました。



ルナライト・カラー

物件名：石狩市学校給食センター
設計：北海道建築設計監理株式会社



高級人造石
Fiore Stone (フィオレストーン)

物件名：JR熱海駅
設計：東日本旅客鉄道株式会社東京工務事務所
株式会社ジェイアール東日本設計事務所

連結決算

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (平成29年9月30日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	118,959	115,338
現金および預金	50,124	47,646
受取手形および売掛金	50,728	50,549
たな卸資産	12,443	12,150
その他	5,929	5,272
貸倒引当金	△267	△281
固定資産	50,351	49,296
有形固定資産	30,071	30,024
無形固定資産	2,690	3,259
投資その他の資産	17,589	16,012
その他	17,607	16,030
貸倒引当金	△17	△17
資産合計	169,310	164,634

科 目	当第2四半期 (平成29年9月30日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	38,884	38,596
支払手形および買掛金	22,049	21,541
電子記録債務	5,064	4,456
短期借入金	1,473	1,314
未払法人税等	2,799	3,255
賞与引当金	1,541	1,760
その他	5,956	6,268
固定負債	6,825	6,352
長期借入金	418	532
退職給付に係る負債	1,209	1,190
その他	5,196	4,629
負債合計	45,709	44,949
純資産の部		
株主資本	111,382	108,726
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,271	13,271
利益剰余金	90,228	87,570
自己株式	△2,008	△2,007
その他の包括利益累計額	7,148	6,172
その他有価証券評価差額金	5,388	4,222
繰延ヘッジ損益	0	△9
為替換算調整勘定	1,600	1,822
退職給付に係る調整累計額	158	137
新株予約権	36	36
非支配株主持分	5,032	4,749
純資産合計	123,601	119,685
負債純資産合計	169,310	164,634

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 累計期間 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)
売上高	78,012	72,754
売上原価	55,401	51,026
売上総利益	22,611	21,728
販売費および一般管理費	13,310	13,063
営業利益	9,300	8,664
営業外収益	605	499
営業外費用	310	413
経常利益	9,595	8,749
特別損失	—	334
税金等調整前四半期純利益	9,595	8,415
法人税、住民税および事業税	3,073	2,795
法人税等調整額	191	△9
四半期純利益	6,330	5,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	603	387
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,726	5,242

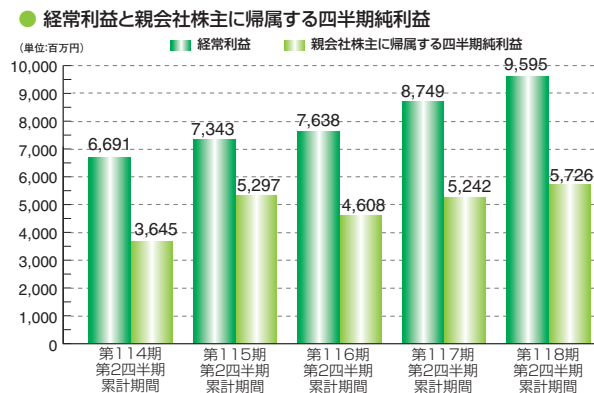
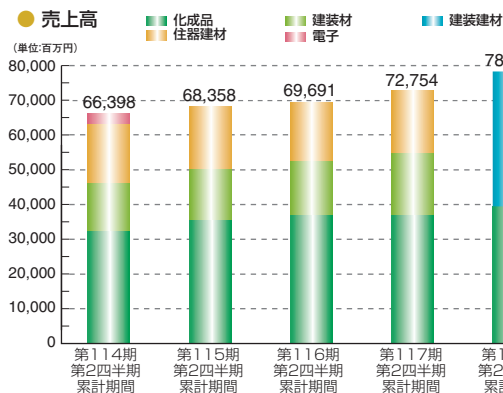
◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 累計期間 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,700	10,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,825	△1,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,267	△2,006
現金および現金同等物に係る換算差額	△129	△1,099
現金および現金同等物の増減額	2,477	5,580
現金および現金同等物の期首残高	47,622	37,449
合併に伴う現金および現金同等物の増加額	—	22
現金および現金同等物の四半期末残高	50,099	43,051

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



本社移転のお知らせ

当社は、平成30年1月に本社を愛知県清須市から名古屋駅前のJPタワー名古屋に移転することとなりました。M&Aなどで拡大する国内外のグループ会社との連携を深めるとともに、利便性の高い場所に移ることで、お取引先とのコミュニケーションの機会を増やすことを目的としています。これを機に更なる事業拡大と業務効率化、ならびにCS（顧客満足）向上を目指してまいります。

現本社棟は、高まる不燃ニーズへの対応や職人不足問題の解消に寄与する省施工型商品の拡充などに取り組むため、建築建材製品の技術棟に改装し、平成30年秋より稼働いたします。技術棟を現在の約7倍の面積に拡大し、無機不燃材料の試作・性能評価機器や施工試験スペースなどを設置して開発環境を充実させてまいります。



新本社 エントランスイメージ図

【新本社の概要】

- 業務開始日：平成30年1月5日(金)
- 移転先住所：〒450-6326
愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番1号
JPタワー名古屋26階

「アルディカ」発売～当社史上最高の質感をもつ不燃化粧板～

現在、建築業界は慢性的な施工職人不足問題や、物流コストの上昇問題などがかかえています。特に、石材やタイル・陶板などは、専門の職人を必要とする材料で、重量があり、かつ養生期間を含めると施工に時間がかかるという問題があります。しかし、その重厚感はこの素材では代替しにくく、主要な建築材料として一定のマーケットを形成しています。

そこで当社は、スマートフォンやテレビなど高精細さを要求される液晶パネルに使われるUV樹脂技術を、今回は不燃化粧板の意匠性アップに応用し、従来から有する「無機技術」・「不燃化技術」と融合させ、石や陶板にかわる新しい不燃化粧板「アルディカ」を発売しました。

「アルディカ」は、まるで本物の石・陶板のような当社史上最高の質感をもつ不燃化粧板で、重さは一般的な石の約

1/4であり、物流コストの削減につながります。また、施工方法は簡単で専門の職人を必要としません。少子高齢化に伴い働き手が減少するこれからの時代にフィットした新しい建築材料です。



ARDICA
アルディカ

物件名：西新宿共同住宅
施主：大友内装株式会社
施工：大友内装株式会社

会社の概要

[平成29年9月30日現在]

プロフィール

- 社 名 アイカ工業株式会社
- 本 社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電 話 052(409)8000(代表)
- 設 立 昭和11年10月20日
- 資 本 金 98億9,170万円
- 事 業 所

[生産拠点] 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県)

[開発拠点] 第一R&Dセンター(兵庫県)

第二R&Dセンター(愛知県、茨城県)

[営業拠点] 札幌支店 仙台支店 盛岡営業所

東京支社 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

金沢支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店 四国支店

福岡支店 鹿児島支店

■連結子会社

- [会社名] アイカインテリア工業株式会社(愛知県)
 アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)
 西東京ケミックス株式会社(東京都)
 アイカSDKフェノール株式会社(群馬県)
 アイカテック建材株式会社(東京都)
 アイカインドネシア社(インドネシア)
 テクノウッドインドネシア社(インドネシア)
 昆山愛克樹脂有限公司(中国)
 瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)
 愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)
 アイカ・ラミネーツ・インディア社(インド)
 アイカベトナム社(ベトナム)
 アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社(シンガポール)

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

[建装建材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板、不燃化粧材、不燃建材、
 カウンター・ポストフォーム、建具・インテリア建材、他

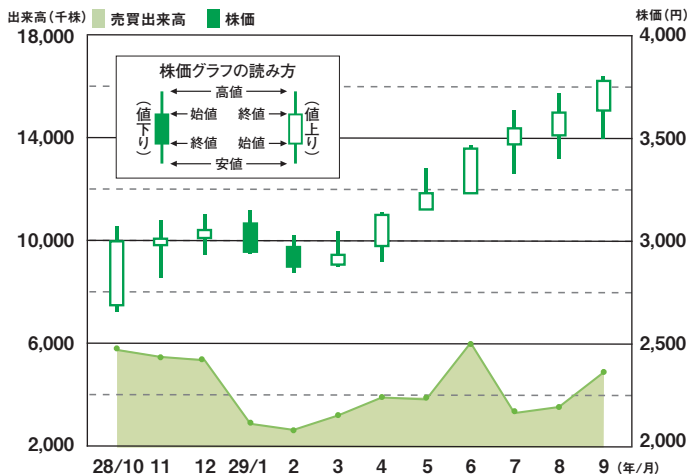
取締役・監査役および執行役員

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| (代表取締役社長) | 小野 勇 治 |
| (常務取締役) | 百々 聡 |
| (常務取締役) | 岩瀬 幸 廣 |
| (常務取締役) | 大村 信 幸 |
| (取締役) | 小瀬村 久 |
| (取締役) | 森 良 二 |
| (取締役) | 伊 東 善 光 |
| ◎(取締役) | 小 倉 健 二 |
| ◎(取締役) | 花 村 淑 郁 |
| (常勤監査役) | 岩 田 照 徳 |
| (常勤監査役) | 森 永 博 之 |
| ○(監査役) | 松 浦 洋 |
| ○(監査役) | 加 藤 正 和 |
| (上席執行役員) | Francis Chan (フランシス チャン) |
| (上席執行役員) | 堀 田 益 之 |
| (上席執行役員) | 岩 塚 祐 二 |
| (上席執行役員) | 倉 本 寛 直 |
| (上席執行役員) | 木 場 健 夫 |
| (執行役員) | Chew Teck Liong (チュー テクリョン) |
| (執行役員) | 加 藤 義 昭 |
| (執行役員) | 石 井 直 美 |
| (執行役員) | 天 野 利 通 |
| (執行役員) | 吉 村 利 康 |
| (執行役員) | 海老原 健 治 |
| (執行役員) | 乾 功 一 郎 |

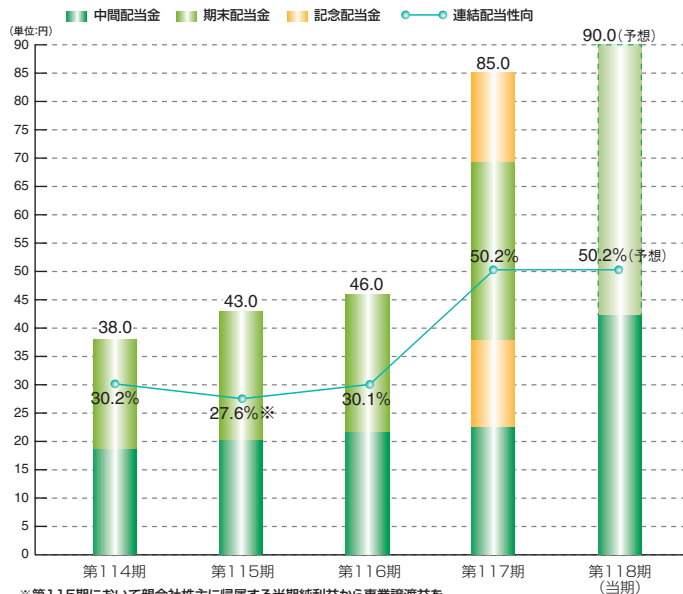
(注)◎印は社外取締役、○印は社外監査役であります。

● 発行済株式の総数…67,590,664株

株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



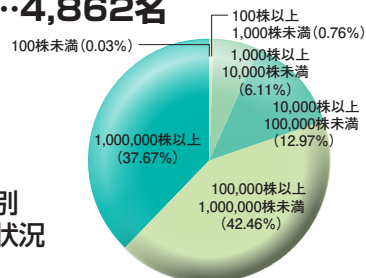
配当金の推移



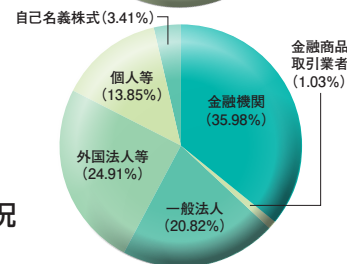
*第115期において親会社株主に帰属する当期純利益から事業譲渡益を除外して算出した場合の連結配当性向は30.2%となります。

● 株主数…4,862名

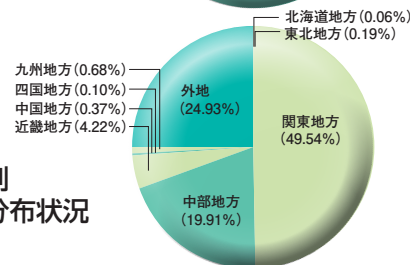
所有株数別 株式分布状況



所有者別 株式分布状況



地域別 株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,729	7.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,342	5.12
アイカ工業取引先持株会	2,079	3.19
アイカ工業株式保有会	1,613	2.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,534	2.35
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99
大日本印刷株式会社	1,293	1.98
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	1,286	1.97
デンカ株式会社	1,229	1.88

*当社は、自己株式2,304千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は、自己株式2,304千株を控除して計算しております。

株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定※ 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

AICA

カガクとデザインで面白いこと



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO₂は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、環境省で認定された排出権(宮城県米川生産森林組合有林間伐促進森林吸収プロジェクト)によりカーボンオフセットされております。

